

# 若年性認知症交流会だより



No.3  
平成 23 年 9 月 発行

## 色々なプログラムに取り組んでいます

交流会では、定番の買い出し兼散歩、室内ゲームや体操、工作、音楽等の活動に加え、健康維持につながる歩き方講習会、おにぎり持参の大倉山公園散策、須磨水族園への遠足、フルートや二胡の演奏会、児童館の子ども達とともに和太鼓講習会や夏祭りを行う等、様々なプログラムを実施してきました。おやつ作りから始めた調理活動も昼食作りに発展し、同じ物を食べると親近感が湧くと好評です。

これらの多様なプログラムを通じて、参加者の皆さまの様々な表情に出会うことができ、スタッフ同士も互いの気づきを共有しながら、より良い交流会にできるよう、毎月のプログラムを検討しています。

また、講習会や演奏会の開催時には、多くの講師やボランティアの方々交流会にお越しください。少いながらも、若年性認知症について、知っていただく機会にもなっています。今後も皆さまに「来て良かった」と感じていただけるよう、充実したプログラムにチャレンジしたいと思います。

## 大倉山公園散策 (H23.5.21)



外の風に吹かれて食べるおにぎりの味、爽やかなハーモニカの音色♪ どちらもサイコーです！



## 多々「認知症」について知ってほしい

交流会では若年期に認知症を発症した方を参加対象としておりますが、高齢化が進む中、認知症の問題は、発症年齢を問わず、社会全体が抱える大きな課題です。まちで認知症の人に出会った時、

また、身近な人が認知症になった場合に、どのように接すれば良いのか、認知症の人の気持ちに寄り添うことのできる人の輪を少しでも広げたいという思いから、子ども達との交流の場づくりを行っています。七月に和太鼓講習会、八月には夏祭りを、

子ども達には、事前に、「大好きだよ、きよちゃん」という絵本を使って、認知症について説明し、子ども達の視点で考える時間を持ってもらいました。「大好きだよ、きよちゃん」は、主人公の男の子の目を通して見る認知症の祖母への気持ちを描かれた絵本です。子ども達は、スタッフの朗読に、真剣に耳を傾けていました。学校のお友達やそれぞれの家族の間で話題に上り、認知症に関心を持ってくださる方が増えることを願っています。

## 和太鼓講習会 (H23.6.18)



今日初めて会ったけれど、全身に響き渡る鼓動を感じて、抜群の一体感!! 来月の夏祭りもよろしくね♪ それにしても激しい筋肉痛です...



## 夏祭り 2011.8.20



## 心強いサポーターです



交流会にはご本人・ご家族、家族会お世話役の他、介護者のつどい等を立ち上げる参考に、と福祉や介護に従事する方々も参加されていますが、八月と九月には、薬の研究に携わる会社から、認知症のご本人やご家族の視点に立った薬作りを目指す活動の一環として、三名の方がご参加くださいました。

認知症に限らず、疾患を抱える全ての方に共通することですが、認知症のご本人やご家族の一番の望みは、当然のことながら、認知症が完治することであり、医療・薬への期待は非常に大きなものだと感じています。

日頃、お薬の開発に尽力されている方々の存在を身近に感じられることは、ご本人・ご家族にとっても、大きな希望と毎日を暮らすための支えになるものと思います。

また、私達交流会スタッフにとっても、認知症と薬について学ぶうえで、とても心強い存在です。

医療・介護・福祉、様々な立場から、認知症のご本人やご家族が暮らしやすい環境づくりについて考え、取り組んでいけるよう、多くの方々や機関と協力関係を築いていきたいと考えています。

家族の方が頑張っておられる様子がわかりました。何回も来てくれたらいいなと思います。



参加者と一緒に輪投げの輪を渡す係です。2011.8.20 夏祭りにて

## ご本人の声を活かせる会

開始以来、「先月よりも、今月はより楽しく、有意義に！」と、様々なプログラムに取り組んできた交流会ですが、八月の夏祭りでは、あまりにメニューが盛りだくさん過ぎて、会場が熱気で沸騰寸前でした。

そこで、九月は二胡の癒しの音色を聴きながらクールダウンしつつ、ご本人・ご家族のグループに分かれてじっくり話し合う機会としました。

ご本人グループでは、「もっと交流会を楽しみたいために、今後の交流会でしたいこと」をテーマに、ご意見をいただきました。

ハンバーグやお好み焼きと一緒に作って食べる！ビールと餃子が良い、と食べ物への希望や、芋掘り、動物園、淡路の花畑に旅行に行く、クリスマスはツリーを飾って、食事はシチューと手作りケーキ、プレゼント交換もしたい！等々、お楽しみイベントの企画も沢山ご意見が出ました。

せっかくなのでクルグウンしたところですが、これほど沢山のご希望を聞いてしまった以上は、実行あるのみです！

早速、十月の交流会では芋掘りの旅に出かけることにしました。空気の美味しい季節、山の空気も、サツマイモの収穫も、お洒落なロジジでの美味しいランチも満喫したいと思います。

今後も、お食事のメニューやプログラムに限らず、ご本人の気持ちに寄り添いながら、ひとつでも多くのご希望を実現していくことができるよう、ご本人の声を傾けていきたいと思っています。

## 交流会に愛称を

さて、昨年スタートした交流会も、十二月で一周年を迎えます。参加して下さる方も徐々に増え、毎月顔を合わせる仲間同士、少しずつ馴染みの関係ができ、和やかに交流会を楽しめるようになってきたように思います。

各地にある認知症の方々や介護者の交流事業にも、土地の植物に因んだ名前や、会への願いを込めた言葉で、様々な愛称が付けられています。

若年性認知症交流会が、参加者の方々にとって、今後、より身近な存在となるよう、皆さまのご意見をお聞きしながら、交流会の愛称を考えたかと思えます。

## 参加者募集しています

今後も神戸市社会福祉協議会では、毎月第三土曜日に交流会を開催します。

ご本人・ご家族はもちろん、若年性認知症に関心のある方交流会運営をサポートして下さる方もお待ちしております。

〈お問い合わせ〉  
**神戸市社会福祉協議会 福祉事業2課**  
 〒651-0086  
 神戸市中央区磯上通3丁目1-32  
 こうべ市民福祉交流センター4階  
 電話:078(271)-5316 FAX:078(271)-5366  
 E-mail: zaitaku@with-kobe.or.jp  
 URL: http://www.with-kobe.or.jp